



2022 年度 JANPU-CBT 実証事業(試行版) 【実証校の公募】 募集要項

【名称】2022 年度 JANPU-CBT 実証事業(試行版)【実証校の公募】

【趣旨】

2021 年度新たな感染症の時代の看護学教育検討特別ワーキングがあげた課題の一つである学生の卒業時の知識・技術・態度の獲得レベルを担保するために、その解決策としての「Student Nurse」制度をあげ、看護学共用試験の導入を検討した。看護学共用試験とは、実習開始前の知識を測定する多肢選択筆記試験(Computer Based Testing :CBT)と技術・態度習得水準を評価する客観的臨床能力試験(Objective Structured Clinical Examination: OSCE)であるが、2022 年度は文部科学省 MEXCBT の実証事業を通して、看護学教育における CBT 導入上の課題を抽出し、令和6年度文部科学省予算要求へ向けた要望などの根拠としていく。

【目的】

多くの看護系大学の各領域臨地実習前のあらゆるレベルの学生に適用するために、運用を試行し、CBT 運用の体制・運用の方法・運用実施の時期・管理運用についての検討を行う。

【2022 年度 JANPU-CBT 実証事業の位置づけ】

令和4年度文部科学省委託事業「CBT システム(MEXCBT)の拡充・活用推進、教育データの利活用推進事業」(文部科学省 CBT システム(MEXCBT)の拡充・活用推進事業)～MEXCBT の開発・運営等事業の一環として実施する。

【対象校・対象者】

JANPU 会員・看護系大学の各領域臨地実習前の学生
(想定:3 年前期・後期セメスタ直前の学生)

【実証時期:JANPU-CBT 実施日】

<1>「2022 年 9 月 27 日(火)」、 <2>「2023 年 2 月 21 日(火)」、 <3>「2023 年 3 月 23 日(木)」のうち希望する日程。(10 時開始 15 時終了予定)

【参加方法】

会員校は、下記参加条件①-⑪を確認し、対象者・実施時期を検討したうえで、本用紙の参加申し込み URL または QR コードから、参加登録期日までに参加登録を行う。申し込みは会員校単位で受け付ける。なお、各実証校の対象学生は同学年、同一実施日とする(複数学年・複数日に受験することはできない)。

注)JANPU-CBT 実証事業(試行版)は、任意で協力を求めるものである。参加の有無が今後の JANPU との関係に利益、不利益が生じることはない。会員校は参加学年の不利益にならないように十分な説明と同意のもとでの参加をお願いする。



【管理運用】

- JANPU は 2022 年度 JANPU-CBT 実証事業【試行版】の「管理運用ルール」と「CBT 実施要項」を作成し、実証校に電子媒体で事前配布(1 か月前予定)する。
- 2022 年度 JANPU-CBT 実証事業(試行版)へ参加申し込み、実証校に決定した各実証校は各会員校の実施責任者を置き、配布された資料に基づき、各実証校における管理運用を実施する。

【2022 年度 JANPU-CBT 参加条件】* 下記①-⑪を満たすことを事前に確認する。

- ①上記 JANPU-CBT 実施日のいずれかに参加できる。複数回・複数日受験はできない。
- ②実証校として決定後、CBT 管理運用責任者が提示する受験者一覧フォーマット(エクセル)に、各実証校で学生 ID 番号(受験者 ID)を取りまとめ・記載・送付できる。CBT 管理運用責任者は学生の個人情報扱わない(学生の個人情報は入力しない)。各実証校で学生 ID と氏名などの紐づけが必要な場合は、各実証校でデータを管理する。
- ③対象学生(領域実習時期前とし、early exposure などの体験実習は含まない)の原則全員参加が見込める。どの時期の学生が妥当であるかの検討・判断は各実証校がカリキュラムに基づき実施する。
- ④対象学生の ICT 媒体を準備できる。2022 年度 JANPU-CBT はインターネットブラウザを使用する。OS 指定はないが「Microsoft Edge」、「Apple Safari」、「Google Chrome」のいずれかに接続できるように準備する。問題形式は、五選択肢/多選択肢/順次解答 4 連問五選択肢択一形式である。設問が十分に閲覧できる媒体はタブレットもしくは PC であるため、これらを満たす ICT 媒体が確保できることを事前に確認する(スマートフォン画面サイズには対応していない)。
- ⑤対象学生と教職員の ICT スキルを確認できる。CBT 管理運用各実証校責任者や試験監督の教職員や学生が、LMS での試験や確認テストやアンケートなどを実施した経験がある(回答者としての経験がある)。
- ⑥各実証校は教室(試験会場)と実施体制と試験監督を準備できる。対面実施のため各実証校で実施体制を準備する(各実証校の参加学生に応じた実施体制)。
- ⑦インターネット環境を準備できる。1 端末あたり 0.35 Mbps~0.5Mbps の帯域が必要となる。画像を利用した問題を再生する場合には、環境により動作が遅くなる可能性がある(試験時間に影響する可能性がある)。インターネット通信料は各自負担となる。インターネット環境は学生人数に対応できる教室を準備(必要時、教室の定員数の半数になどネットワークや学内サーバーへの負荷を抑える)。可能な限り事前に、当日想定する教室で、参加学生一斉でのインターネット使用が可能かを確認することが望ましい。
- ⑧ICT 媒体の準備・保守管理は CBT 管理運用各実証校責任者が行う。
- ⑨2022 年度 JANPU-CBT においては、CBT 管理運用責任者は ICT 媒体・インターネット・ICT スキル・実施体制・教室(試験会場)などの不具合などに関する対応は行わない。各実証校での対応となる。
- ⑩2022 年度 JANPU-CBT 実証事業【試行版】の公正な準備と運用のために、遵守事項を確認の上、「管理運用ルール」「CBT 実施要項」に基づき実施できる。
- ⑪2022 年度 JANPU-CBT 実証事業【試行版】の利用状況、利用意向及び利用見込み(以下、「利用状況等」という)を把握するための調査に協力できる。

【CBT 媒体】

文部科学省総合教育政策局教育 DX 推進室の「MEXCBT・実証用学習 e ポータル」を使用する。

<https://support2.mexcbt.mext.go.jp/>



【参加申し込み】

下記 URL もしくは右記 QR コードの Google フォームより回答する。

<https://forms.gle/Hyzphc3BC5fsKyfm6>



【参加登録の期日】 2022 年8月 26 日(金)

【参加校の決定】

本参加登録は申込制とし、JANPU が参加登録した会員校から選出して、実証校 15-30 校を決定する。実証校は国公私立、ブロック別の配分を考慮し、8月下旬に決定を行い、参加登録した会員校に実証校としての結果を周知する。

【参照:答申書】

2022 年 6 月に本件に関する答申書:「新たな感染症の時代の看護学 教育検討特別ワーキング 2021年度 - 今だから考える看護学基礎教育の将来」を発刊し、会員校の社員の皆さまにはすでに郵送しております。また、JANPU 会員校専用ページにも掲載しております。必ず本答申書もご確認いただきたくお願い申し上げます。

【問い合わせ先】

お問い合わせはなるべくメールでお願いいたします。

JANPU 看護学教育質向上委員会事務局

E-mail: office@janpu.or.jp TEL: 03-6206-9451

一般社団法人 日本看護系大学協議会

CBT ワーキンググループ WG リーダー 吉沢豊子